

瀋陽駐在員事務所

## 「北海道フェア in 瀋陽～毛毛登場！」

瀋陽札幌友好都市30周年を記念して、8月19日～9月1日、瀋陽伊勢丹で「北海道フェア」が開催されました。フードコートには、「さんぱちラーメン」、「ソラチ豚丼」がお目見えし、日本料理魚漫では「石狩鍋」が提供されました。地下食品売り場には、北海道産食品が並び、北海道の「食」を強烈にPRしました。

今回のもうひとつの目玉は、中国本土初上陸のHBCキャラクター「もんすけ」です。「もんすけ」の中国名は「毛毛（マオマオ）」。「毛毛」は孫悟空の弟？という設定で、兄孫悟空を探しにやってきたことになっているそうです。実は「毛毛」の名付け親は、当事務所の張さんです。もんすけの「M」とモンキーの「M」、頭文字をとって名づけられました。「毛毛」は、この後、四川省成都伊勢丹に登場して、パンダに兄孫悟空の行方を尋ねる？予定になっているそうです。一日も早く、お兄さんに再会できることをお祈りしています！？！。

正司 毅



ユジノサハリンスク駐在員事務所

## 「旧日本軍戦車」

8月から9月にかけて、日本から大型客船により多くの観光客が当地を訪れました。1回の寄港で300名以上の観光客が大型バス8～9台に分乗し、移動しますので人口18万人のユジノサハリンスク市内に点在する観光スポットは日本人で一杯となります。

戦前日本が統治していた時代もあることから、日本ゆかりの建造物がユジノ市内をはじめ州内50度以南には多く残っており、サハリン政府も日本からの観光客誘致の目玉にしようとしております。

その観光客が必ず立ち寄るサハリン州立郷土史博物館（旧樺太博物館）敷地内に戦前学校に必ず設置されていた奉安殿（御真影と教育勅語を納めていた建物）横に「旧日本軍戦車」が展示されました。この戦車は千島列島唯一の戦闘が行われた千島列島最北端のシュムシュ島（占守島）から搬送されてきたものですが、赤茶けた車体を迷彩色に塗装し展示されております。テレビでも放映されたことから多くの市民が訪れ記念撮影をしたり、子供たちは無邪気に戦車に乗ったりしておりました。しかし日本人観光客の中には案内版がないことから、何故この戦車に「日の丸」がついているのか不思議がる観光客も多く見受けられました。

先の大戦について、日本では「遠い昔」になりつつありますが、ここサハリンでは現在も目の当たりにすることが出来ます。

對馬 雅弘



(財)日中経済協会北京事務所

## 「瀋陽によさこいソーラン初上陸」

8月31日（火）に、札幌市主催で札幌瀋陽姉妹都市締結30周年記念イベントが、瀋陽の伊勢丹にて行われました。このイベントのメインは、JTB北海道の中でインバウンド（海外旅行客を日本側で受ける）専門を請け負うサンサポート北海道と瀋陽に本社を置く遼寧中国国際旅行社（遼寧CITS）が相互の都市の理解を深める為に、人材交流を進める調印をするというものでした。そしてそのイベントを盛り上げるべく、ほくほくFG&あほんだら会の皆様が伊勢丹前の特設ステージで演舞しました。よさこいの皆様はこの他にも地元大学の交流も行いました。よさこいを初めて見る地元の方達は興味津々で瞬く間に人だかりが出来ました。全部で3曲演舞していただきましたが、2曲目は地元の方、堰八頭取、そして札幌市長にも参加いただき大変盛り上がりました。皆様のお陰で文字通り記念すべき日となったのは言うまでもありません。

中島 康成



よさこい一団と一緒に踊り盛り上げる堰八頭取、上田札幌市長



瀋陽市民の方も一緒に踊りました